

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	通信会社（支店長） ゴルフ場（従業員）	来客数の動き 来客数の動き	・来客数が多い時もあれば極端に少ない時もあるが、平均的にはやや上向き傾向にある。 ・今月の来場者数・予約状況共に、良い数字が出ている。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・5月の連休中はイベントもあったせいで、ファミリー層を中心に、かなりの人通りがあった。特に夏物のアパレル等の販売点数が、普通は1、2点のところを、まとめ買いするような場面も見受けられた。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新しい商業施設が出来たことや、ゴールデンウィーク後の来客数の大幅な減少が長く尾を引いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ガソリン等の値上げや商品単価の上昇で、買上点数が減っている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ダイレクトメール・電話等で勧誘しても来店がない。来店があっても購入につながらない。
		家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・今月中旬より、エアコンが多くなってきている。梅雨に入る前に買い換えという客が例年に比べ多い。液晶テレビについては、価格の値ごろ感からか、以前に比べ、大型の販売になってきている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・大規模イベントを開催したため、例月より来客数は増加した。しかし、客の中で商談につながる割合は低く、商談になっても契約に至らないケースが多かった。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・4月の受注残があったため、登録ベースでは前年比118%と非常に良くみえるが、当月受注ベースでみれば良いとはいえない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・商品の値上げ等で少し客の出自が鈍い。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数に大きな変化はないが、単価は少し低くなっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの人の動きは例年に比べ悪かった。特に海外旅行へ出掛ける人が少なかった。燃油サーチャージが高くなったこと、曜日の並びが悪かったことなどが影響した。国内旅行も1泊旅行程度が多かった。
	タクシー運転手	来客数の動き	・休みが増えると市内では仕事量が減るため、今月もそれほど良くはない。また、物価が上がっており、乗車回数自体も減っている。	
	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・道路特定財源問題の影響で公共事業の発注が遅れ、規模も縮小している。建設業への依存度が高い地方都市の経済は停滞・後退が顕著である。競争相手を見ても、加盟協会からの脱退、従業員減、給与減は、今年度になって、顕在化が著しい。	
	やや悪く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・同業者の方に聞いても例年5月は売上が高い月であるが、今年は売上が伸びず、どの店も母の日商品の売れ残りがあったようである。ゴールデンウィークと母の日が近かったこともあり、あまり需要がなかった。
一般小売店〔酒類〕（経営者）		単価の動き	・総会需要は若干あるようだが、飲食店への個人の客足が遠のいたままで、夜の街は静かだ。	
一般小売店〔乾物〕（店員）		販売量の動き	・売上が前年比で悪い状態が続いている。	
百貨店（営業担当）		それ以外	・来客数・売上高共に前年同月を下回った。ファッション関連商品及び婦人・紳士等の衣料品が苦戦した。	
スーパー（店長）		来客数の動き	・これまでの一部商品の値上げは、店舗小売価格を抑えての販売や他商品への切替えで、客単価や売上への影響は少なかったが、このところの値上げ商品の広がりやガソリン価格の上昇により来客数の減少傾向が出てきた。	

		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・ガソリン暫定税率の復活・原油価格の高騰と消費マインドが冷え込むことが重なっている。食品においても、パン・牛乳など値上げ・再値上げをする商品が後を絶たない。店頭価格も据置き出来ていないものが増えている。
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・惣菜の売上は良いが、果物・原材料の売上が弱い。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークまでは、前年をやや上回るぐらいであり、そこそこ順調だったが、ゴールデンウィーク明けから急に消費マインドが落ちた。遊びに使ったということもあるだろうが、生活に身近な商品の値上げ等で儉約している感じがある。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少、来店しても必要なものしか買わないという傾向が次第に顕著になってきている。今月の来客数は前年比12%減、買上率は前年比13%減、客単価は前年比9%減と全ての項目で客の慎重な動きが数字に表れている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・買上客数が、前年を割っている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・値上げの影響もあり一品単価は上がったが、買上げ点数にかげりが見え、客単価の上昇にはつなげない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・原油高等の悪条件が揃っており、旅行者・宿泊客が増えない。
		タクシー運転手	単価の動き	・1回あたりの実車の単価が低下している。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・店舗の来客数も下降傾向にあるとともに、来月以降の新端末販売開始に向けた買い控えの影響も一部出ている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数がかなり減少している。外国人の客も少し減ってきている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けから、客が途絶えた。
		美容室（経営者）	単価の動き	・来客数は前年同月とほぼ変わらないが、客単価が低く押さえられている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・諸物価、燃料代の値上がりで可処分所得が減ったという話を実際に耳にする。また、郊外の大型ショッピングセンターが開店した影響で来客数は減少している。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・メーカー・卸からの値上げ及び取引先納入料飲店への価格転嫁はようやく一段落した。しかし、値上げ後の各料飲店への販売量は顕著にダウンしている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・来店客数も売上高も下げ止まらず、更に悪化している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・4月から潮目が変わった。あまりにも食料品が値上がりして、完全に高い物は売れなくなった。もともと安かった物まで値上がりしたので、買上点数が大幅に低下している。食品の値段が上昇しすぎである。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・ガソリン価格の高騰により、車の台替等は可能な限り様子を見ている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量も動かないが、今まで以上に車の点検を受ける客が激減した。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注も伸びず、受注価格も低い。
	やや悪くなっている	食料品製造業（従業員）	それ以外	・中国産冷凍ギョウザ問題以来、冷凍食品の売上が非常に悪く、市場も厳しい状態になっている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・改正建築基準法による着工数の減少が、クレーンの稼働率にも影響を及ぼしている。また、集合住宅について、契約率の低迷による在庫数の増加がみられ、これによる仕事量の減少も稼働率に影響を与えている。
		輸送業（役員）	取引先の様子	・軽油引取税、ガソリン税の復活と共に、燃料価格の高騰が続くなか、運賃への転嫁がなかなか受け入れられない状況である。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・天井知らずの原油高による包装材を含む原材料高騰の影響で貨物量が軒並み減少している。

		通信業（営業担当）	それ以外	・大型量販店、スーパーのマネージャー等との会話の中で、「日用品は安い価格を最優先し、趣味・健康関連商品は値段が高くても良質な物・安全な物を買う。個人消費ほどその差の大きい物は無い」「目玉商品を買う為に開店前から並ぶが、情報を集め検討をしてから買う」というような販売側にとって厳しい話をよく聞く。
		金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	・肥料の製造業では、中国からの輸入仕入価格が3倍ぐらいに跳ね上がっており、燃料価格の高騰も重なり、収益が悪化している。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の顧問先の試算表・決算書等をみると、赤字になっている法人が増えている。全般的に景気が落ち込んできている。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	それ以外	・久しぶりに正当な金額で契約が出来たと喜んでいた工事が、建築確認の認可が遅れている間に資材が高騰し、利益が飛んでしまった。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・5月の新メディアの出版により、企業や店舗はもちろん、求職者のパート・アルバイト・正社員求人情報に注目が集まっている。キャンペーン結果も好調で、想定より良い結果が出ている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数がわずかではあるが増加傾向にあり、就職者数も前年より増えている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・本学大学生に対する求人数の動きが確実に増加している。
	変わらない			
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・新規オーダーの絶対数が前年割れしている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・4月の有効求人倍率は、3か月前より0.14ポイント下回り、0.71倍となった。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・原油高を始めとする諸物価の上昇が企業の経営を圧迫し始めており、採用数が前年を下回るどころが増え始めている。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・求人広告の件数・売上共に前年を下回り、新規開店や建物の落成などのオープン広告も無いに等しいくらい状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、3か月前に比べ、16.2%減少し、有効求人数も、3か月前に比べ、3.3%減少した。求人の減少は昨年の夏ごろから前年同月比で減少し続けている。